

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：精神保健費

事業名 新 就職氷河期のひきこもり支援推進事業費
--

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内 4806)

E-mail： c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **2,340 千円 (前年度予算額： 0 千円)**

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,340	1,755	0	0	0	0	0	0	585
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

内閣府の調査では、若年層^{※1}及び中高年層^{※2}のひきこもりが約115万人を超えと言われ、ひきこもりの長期化と高齢化が社会問題となっている。

ひきこもりの状態が長期化すると、年齢に応じた社会体験の機会が奪われ、自立した生活が困難となり、生活保護者の増加につながる可能性が高い。

岐阜県では平成28年6月に精神保健福祉センター内に「ひきこもり地域支援センター」(以下「センター」という。)を開設し、関係機関と連携した支援を展開しているが、居場所事業に参加されているなど社会参加の試行段階の方に対し、自立に向けた支援が進められていない。

このため、令和4年度は、就職氷河期世代で社会参加の試行段階の方に対して、本人にあった社会参加、就労活動ができるようアセスメントを行い、相談、伴走型支援をしていくことで、より社会参加、就労活動に近づける施策を展開していく。

(2) 事業内容

- 社会参加アセスメント事業
 - ア 相談・伴走型支援事業
 - イ オンライン相談事業

(3) 県負担・補助率の考え方 国 3 / 4 県 1 / 4

(4) 類似事業の有無 無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,340	相談・伴走型支援、オンライン相談
合計	2,340	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

厚生労働省「地域就職氷河期世代支援加速化交付金交付要綱」に基づき実施

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ひきこもりに悩む就職氷河期世代の方に対し、本人にあった社会参加ができるようにすることを目的に、社会参加に向けたアセスメントを行い、相談・伴走型支援をしていくことで、社会参加、就労活動につなげていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

アセスメントを中心とした業務のため、目標値を設定することになじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ひきこもり支援の相談、居場所事業に参加された方が、自分に適した社会参加、就労活動ができるよう支援していく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ひきこもり支援の相談、居場所事業に参加された方が、自分に適した社会参加、就労活動ができるようにするため、継続して社会参加に向けたアセスメントを行い、その評価に基づいた相談及び伴走型支援をしていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	【〇〇課】